

平成 29 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立鳥羽高等学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	<p>全日制普通科</p> <p>スポーツ総合専攻 1 年（男 28 名、女 14 名 合計 42 名） 2 年（男 26 名、女 16 名 合計 42 名） 3 年（男 27 名、女 14 名 合計 41 名）</p> <p>文科スポーツコース 1 年（男 20 名、女 19 名 合計 39 名） 2 年（男 24 名、女 18 名 合計 42 名） 3 年（男 20 名、女 10 名 合計 30 名）</p>
3 展開の形式	<p>（１）学校における活動</p> <p>① 教科名（ スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック教育講演会 ） ③ その他（ ）</p> <p>（２）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ） ② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>○オリンピック・パラリンピック教育を行う事で、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに様々な形で積極的に参画し、スポーツを通してグローバルな活躍ができる人材の育成を目指す。</p>
5 取組内容	<p>びわこ成蹊スポーツ大学職員、硬式野球部コーチ山田 秋親氏（元全日本代表選手、2000 年シドニーオリンピック出場）を講師に招き、『チームに求められる人材になるために』をテーマに、御自身の経験を踏まえ、目標の持ち方、競技に対する姿勢、練習のあり方などについて講演をしていただいた。</p>
6 主な成果	<p>生徒の感想などから</p> <p>○長期的にまた短期的に、目標を明確にして取り組む重要性がとても伝わる講演であった。</p> <p>○それぞれのカテゴリーで壁があり、それを乗り越えることで成長につながる事がわかった。</p> <p>○様々な挫折からヒントを得ることもあり、自分で限界を決めずに努力をすれば、目標に限りなく近づいていけると教わった。</p> <p>○「1 日 1 回感動を味わうようにする」と言う言葉が印象に残った。チームメイトの良いプレーを共に賞賛できたり、自分自身ができなかったことができるようになったことに対して素直に喜んだり、周りの支えを感じることができ、感謝の気持ちを表現できたりする事が大切である。そうすることで自分自身も感動したり、他者を感動させたりする事ができ、お互いのモチベーション</p>

	<p>が上げられ、更に良い方向に進んでいくことが理解できた。</p> <p>○オリンピックの言葉の強さが生徒の心に響いた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○事前学習をしたり、質疑の内容を事前に考えさせたりしたことで主体的に受講できた。</p>
8 主な課題等	<p>○継続的に取り組む事で、生徒達の意識改革につながる。</p> <p>○講演をするに当たって講師費用が安価すぎる。素晴らしい講演をお願いするにはそれなりの代価が必要なので、体育系設置校合同で行うなど工夫が必要。</p> <p>○どんな競技でも良いが、実際にトッププレイヤーの試合の観戦や練習の見学ができる機会が欲しい。</p> <p>○人間力を高める学習に繋がる為に、競技者以外の方々から学ぶ事も重要と考える。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○来年度も講演を実施しようと考えている。卒業生で活躍している大相撲の宇良関、アメリカ大リーグダイヤモンドバックス所属の平野佳寿氏、シンクロナイズドスイミング女子日本代表の福村寿華氏などを講師で招きたいと考えている。</p>



